

2022年7月  
(No.88)

# あこう社協だより



令和3年度事業報告・決算報告	2P
福祉の輪、助け合いの輪を広げていこう！	
あたたかい心の支えあい	4P
まち発見！あこう福祉ニュース	6P
賛助会費ありがとうございました	7P
生活福祉資金	
新型コロナウイルス特例貸付のお知らせ	8P
おもちゃライブラリー 手作りおもちゃ教室	
サマーボランティアスクール	8P

## みんなで広げる福祉の学び

社協では、市内の学校や地域の団体などに、障がい者や高齢者についての理解を深める福祉体験学習を行っています。

6月8日・15日、その学習をサポートするボランティアの養成講座を開催し、参加した13名は、おもりや目の見え辛くなるゴーグルなどを装着し、日常生活動作を疑似体験することで、サポートに必要なことを学びました。



「あこう社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。

# 令和3年度事業報告・決算報告

『支えあい 助けあう こころつながる やさしいまち あこう』の実現に向けて

(事業報告より一部抜粋)

## ひきこもり状態にある方などの居場所

ひきこもり状態にある方とその家族が安心して過ごせる居場所として「みんなのいえ」を継続して開設しました。また、「ひきこもり啓発講座」を開催し、当事者の思いや本人が望む支援・対応などについて啓発しました。

開設日 月・水・金曜日（祝日・年末年始を除く）  
13時～16時

利用状況 開設155回、利用人数175人

家族のつどい 毎月第4木曜日

開催12回、33組36人参加

※令和4年度より、開設日が月～金曜日に拡大しました！（祝日・年末年始を除く）

## 児童福祉活動の充実

児童扶養手当を受給しているひとり親家庭を対象に、ランドセルや中学生体操服等の購入助成を継続実施し、子育て支援の促進を図りました。中学生体操服等の購入助成については、制服にも対象範囲を拡大し、助成金額も増額しました。また、市内小・中・高等学校の学生服・体操服の寄付を募り、必要な方にお渡しする「学生服等リユース事業」を実施しました。



ランドセル購入助成 14件  
中学生体操服購入助成 18件  
学生服等リユース事業 寄付415点  
持ち帰り合計239点

## 社協組織の体制強化・透明性の確保

平成29年4月の改正社会福祉法本格施行以後、初めての理事・監事・評議員の一斉改選となりました。地域福祉を取り巻く環境が変化する中、役職員全体で事業の成果・課題の共有を図り、法人組織として求められる課題に対して迅速に対応できるよう、組織体制の強化に努めました。

正副理事長会議 3回  
理事会・評議員会・監事會・評議員選任解任委員会  
計10回

## 地域での生活支援体制づくり

市から委託を受けて配置された生活支援コーディネーターにより、地域に不足するサービスの創出や担い手の育成（生活支援センター養成講座）、ネットワークの構築等、地域の支援ニーズの把握に取り組みました。

また、ちょっとした困りごとを住民同士の助けあいで解決する仕組みづくりとして「地域の困りごと応援隊事業」を引き続き行い、毎月の定例会では情報共有しました。

生活支援コーディネーター設置事業

活動件数 136件

生活支援センター養成講座

修了証贈呈 13名



地域の困りごと応援隊事業

利用登録人数 56名

応援隊登録人数 38名

活動件数 50件

## 福祉への関心の向上

地域福祉の必要性や社協に対する理解や事業等について市民の方々に理解していただくため、「社協だより」を毎月発行しました。

また、Facebookに加え、令和3年11月から新たにインスタグラムによる情報発信を開始し、即時性のある情報発信や若年層などにも身近な社協を目指しました。



Instagram  
QRコード



Facebook  
QRコード

## 地域に根ざした介護サービスの提供

介護保険事業や障がい福祉サービスの指定事業者として、地域に根ざした社協ならではの「誰もが安心して利用できる介護サービス」を行いました。

居宅介護支援（ケアプランの作成） 1,601件

訪問介護・居宅介護（ホームヘルプ）

訪問回数23,571回

相談支援（サービス等利用計画作成） 220件

## ボランティア活動の推進

レクリエーションやシニア対象のボランティア養成講座を実施するなど、市民が積極的にボランティア活動に参加できるよう、ボランティアの裾野の拡大に努めました。

また、感染症に対応した災害ボランティアセンター開設訓練実施に向けて、関係機関・団体と話し合いを重ねました。

ボランティア養成講座	7講座	134人参加
ボランティア出前講座	5回	82人参加
災害ボランティアセンター開設訓練打ち合わせ	4回	22人参加

## 在宅福祉サービスの積極的な展開

毎週月・木曜日に実施している「介護特別食」や「移送サービス事業」、「福祉用具貸与事業」などで、在宅福祉サービスの充実に努めました。

介護特別食	94回実施
移送サービス事業	68回実施
福祉用具貸与事業	貸出件数226件
買物支援モデル事業	4回実施

※「買物支援モデル事業」は、令和3年8月末をもって事業を終了し、当事業の利用者は、赤穂ボランティア協会の買い物支援事業を利用しています。

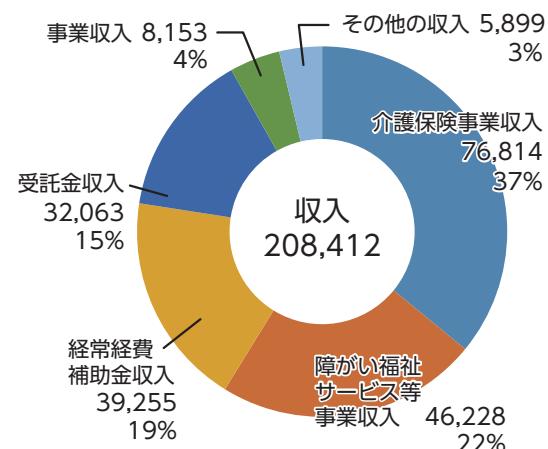


## 資金収支決算

(単位：千円)

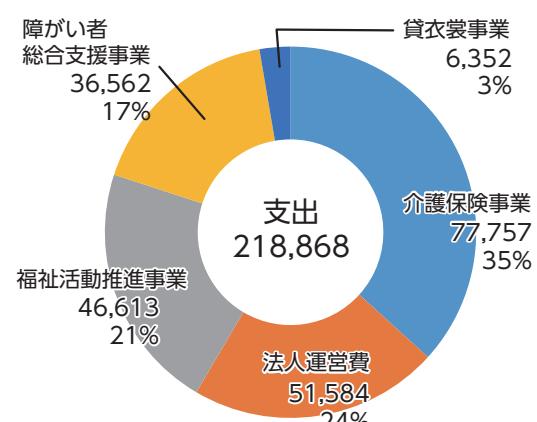
### 収入の部

介護保険事業収入	訪問介護事業、居宅介護支援事業の介護報酬及び利用者負担金
障がい福祉サービス等事業収入	障がい者（児）へのホームヘルパー派遣による介護報酬及び利用者負担金、相談支援事業の介護報酬
経常経費補助金収入	市、県社協、県共同募金会からの補助金
受託金収入	市から委託されている総合福祉会館管理費や福祉用具貸与事業、視覚障がい者支援事業などのほか、県社協からの福祉サービス利用援助事業や生活福祉資金貸付制度の受託金
事業収入	貸衣裳事業利用料 など
その他の収入	会費収入、寄付金収入 など



### 支出の部

介護保険事業	訪問介護事業、居宅介護支援事業の運営費
法人運営費	理事会・評議員会の開催、機関紙発行、福祉のつどい、市民福祉講座、事務局職員人件費など
福祉活動推進事業	小地域福祉推進事業、ふれあい・いきいきサロン支援、パートナーサービスマネジメント事業歳末もち配布事業、友愛訪問活動、給食サービス事業、移送サービス事業、敬老事業、ボランティアセンター活動事業、善意銀行払出事業 など
障がい者総合支援事業	障がい者（児）へのホームヘルプ事業相談支援事業の運営費
貸衣裳事業	生活改善事業として衣裳の貸付



※収入不足 10,456 千円は前期末支払資金残高で対応

令和3年度の事業報告書・決算書については、社協ホームページに掲載します。  
また、総合福祉会館社協窓口においても閲覧できます。

## 福祉の輪、助けあいの輪を広げていこう！ あたたかい心の支えあい



6月11日（土）、赤穂化成ハーモニーホールにて「赤穂市福祉のつどい」を開催し、190名の皆さんに参加いただきました。

第1部では、「つつじ賞」、「さくら賞」、「ふくしの人」の表彰や福祉協力校の尾崎小学校とふれあい・いきいきサロンの「愛宕会」による実践発表が行われました。

第2部の記念講演では、シンガーの木山裕策氏をお招きし、ガンと闘病しながら夢を叶えた話や歌唱を披露いただき素晴らしい時間となりました。

「ふくしの人」は長年ボランティア活動等の福祉活動に貢献された個人・団体に社会福祉協議会理事長より贈られます。今年度は、個人1名と2団体が表彰されました。

（活動歴は、令和4年6月現在）

### 個人

### 岩 弘之さん

（尾崎：ボランティア活動歴40年）

岩さんは、赤穂ボランティア協会設立当初より、障がい者支援や高齢者の在宅福祉サービスボランティアグループ「ハンドインハンド」、「こすもす」、「四季」、入浴サービス「しゃぼん」で、長年活動をしてこられました。

現在は協会の監事として活動運営を支えています。



#### Q. 活動を始めたきっかけは？

7歳離れた知り合いの方からのすすめで、ボランティアを始めました。その方が東京に転勤となってしまい、主な活動を引き継ぐことになりました。多くの方と出会うことで活動が広がりました。

#### Q. 印象に残っている活動は？

40年前に「ハンドインハンド」というグループで、障がい者の車いす介助などをしていました。メンバーも若く、10歳くらい年下の子もいました。若い方の指導に尽力したことを覚えています。



#### Q. これからの目標は？

誕生日会や祭りなどのイベント企画や高齢者の入浴サービスの運転手などたくさんのボランティア活動をしてきました。今は前線での活動は少なくなりましたが、後輩の育成や協会の発展に貢献していきたいと思います。また、趣味で仲間と演奏活動をしています。少しづつ行事が再開していますので、どこかのイベントで演奏したいです。

## 団体

### 寄居家和（よいやな）

(東之町：ふれあい・いきいきサロン活動歴10年)



平成24年1月に設立し、毎月第2土曜午前10時から東之町集会所で、お花見やお月見等の季節に合わせた催しやゲームをしたり、メンバーで外食や博物館見学におでかけするなど、主に高齢者の閉じこもり防止に力を入れて活動しています。

フレイル予防として、高齢者の社会参加を促すことを目指して会を運営し、顔の見える関係ができ、参加者・スタッフの隔たりが無く、気軽に声を掛け合える場にもなっています。

月1回の集まり以外にも不定期で花を植える活動などもしています。コロナが流行する前は、集会所で食事を作って食べたりもしていました。

代表の奥吉昌子さん（東之町）は、「月に1度集まることでお互いを知り、ざっくばらんにお話ができるようになりました。今後も継続して活動し、いきいきとした生活を送つていけるお手伝いをしたい」と話していました。



## 団体

### MOAひまわり会

(ボランティア活動歴17年)

平成16年7月に発足し、平成19年8月にボランティアセンター登録グループに加入了しました。

会員は15名で、主な活動は幼稚園、小学校、中学校、福祉会館などで花の生け込みを行っています。また、有年中学校にて、花の生けられた場所で一服の抹茶を生徒に振る舞い、癒しの時間を提供する「心の教室相談員活動」や、西小学校で児童が花の生け込みをする「フラワーサークル活動」をしています。



新型コロナウイルスの感染が拡大する以前は、市内の福祉施設にてお茶会を開き抹茶体験も行うなど、幅広い世代にお花やお抹茶を通して笑顔の輪を広げたいと思い活動しています。代表の東條正輝さん（塩屋）は、「メンバーと一緒に健康にも気づかい岡田式健康法をやっています。グループの活動が市民の皆さんのお憩いや癒しになればと思い、今後も日々、努力していきたい」と話していました。

# まち発見！ あこう福祉ニュース



## 元気いっぱい！笑顔もいっぱい！！

6月16日（木）、いこいのひろば“たかお”が「ミニ運動会：元気もりもりコロナに負けるな！！」を開催し、地域の方約40名が参加し、チームに分かれて輪投げやパン食い競争、玉入れなどで競い合いました。

子どもたちはコロナも吹き飛ばすほど元気いっぱい！その様子に大人たちは笑顔いっぱいとなり、梅雨の合間の楽しい時間になりました。

## 大切なあなたとわたしを守るため

6月25日（土）は赤穂ボランティア協会より15名、27日（月）は赤穂地区福祉推進連絡会より34名が、ボランティア出前講座に参加しました。

講師はともに赤穂防災士の会が務め、赤穂市における水害のリスクを聞いたり、非常時に役立つ新聞紙スリッパ作りや、災害時の応急手当などを体験しながら学びました。

## 介護保険について考えよう！ ヘルパー編⑨

### ●ヘルパーのサービス内容について、紹介します。

#### 「普段は這いながら移動し、介助がないと立てない方」の自宅入浴

- 身体介護
- ①検温、血圧測定後に安定していれば、湯はり、着替えなどの入浴準備
  - ②昇降イスを利用し、シャワーキャリーへ移乗介助
  - ③必要に応じて洗えないところの洗髪、洗体。塗り薬などの介助
  - ④入浴後、シャワーキャリーから昇降イスへ移乗介助
  - ⑤着替えて安楽な姿勢を確認し、水分補給

※訪問日に体調不良で入浴ができない場合は、清拭などに変更する場合もあります。

昇降イスやシャワーキャリーなど、福祉用具を利用し、自宅で安心して入浴できるよう、ヘルパーがサポートします！



# 賛助会費ありがとうございました

(敬称略)

【個人】室井 久夫	室井 恵子	藤本 敏弘	小野 俊明	赤穂市議会議員互助会
谷内 繁子	後藤 利彦	福本 俊弘	重松 英二	小林 良明
中道 昭弘	桐谷 宙佳	薮林 虔之	金井 貴子	岡田 勲
古森智恵美	浜野 好正	酒井 増二	島田 裕弘	新田 順子 匿名51名

【法人】(有)西備建材店	(有)米ログリーンナーセリー	(株)赤松工業	東洋紙業(資)
てんわかかりつけ医院	赤穂ライオンズクラブ	(有)Koji建設	(株)ジョイハシモト
兵庫信用金庫赤穂支店	前田石油(株)	澤田医院	赤穂タクシー(株) くら電
トヨタカローラ姫路(株)赤穂店	(株)船曳商店	三協防災(株)	播磨屋
中村印刷(有)	小野高速印刷(株)	(株)播州商会	井川木材(株) 大木産業(株)
(有)富士工業所	ヘルシーガーデン	(株)中野建設	(株)横山サポートテック
関西福祉大学	アズビル(株)	(株)三木組	(株)総本家かん川 玄武会ヒルズ
赤井歯科医院	(株)田原文具センター	(株)亀井産業	菱彩テクニカ(株)赤穂工場
三菱電機(株)系統変電システム製作所	(株)岡本鉄工所	アトラス情報サービス株式会社	
松尾(株)	岩谷内科	(株)品川リフラクトリーズ	赤穂化成(株)

福祉の拠点をみんなで支えてください。



●法人会費 5,000円 ●個人会費 2,000円 ●一般会費 500円

## 善意銀行だより

あなたかい善意をありがとうございました  
預託状況(6月1日～6月30日受付分)



ぜんい君 こころちゃん

### ●委任預託

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
一	匿 名	5,500	お誕生日に感謝して
有年牟礼	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
東浜町	二宮 紀秀	1,500	福祉のために
一	匿 名	3,000	車椅子借用御礼
御 崎	米谷 徹志	50,000	満中陰志

善意銀行は、皆さまの善意の心によって支えられています。今後も預託者のお気持ちを大切にし、身近な地域で活用していきますので、善意銀行への理解とご支援をお願いします。

〈敬称略〉

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
中 広	総合福祉会館	42	善意の募金箱
中 広	善意の募金箱	15,597	赤穂市福祉のつどいにて 善意
尾 崎	匿 名	1,000	車椅子借用御礼
本水尾町	廣島 輝子	1,000	福祉のために
上仮屋南	匿 名	20,000	福祉のために

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

## 心配ごと相談所のご案内

(7月20日～8月3日まで)

【一般相談】 7月27日(水) 8月3日(水)

【弁護士相談】(要予約) 7月20日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】(要予約)

7月27日(水) 8月3日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。

※相談は無料です。

※下記までお問合せください。

## ひきこもり家族のつどい

◆日 時：7月28日(木)  
午後1時～4時

◆場 所：みんなのいえ  
(赤穂市塩屋656-17)

◆対 象：ひきこもり状態にある方の家族

◆参 加 費：無料

◆問 合 せ：下記までお問合せください。

## ■生活福祉資金 新型コロナウイルス特例貸付のお知らせ ■

新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や失業などで収入減少があった世帯を支援するため、緊急小口資金および総合支援資金の特例貸付を実施しています。

●緊急小口資金 貸付限度額 10万円以内または20万円以内

●総合支援資金 貸付限度額 単身世帯：月額15万円以内×3カ月  
複数世帯：月額20万円以内×3カ月

総合支援資金の申請には、①緊急小口資金を利用すること②市自立相談支援機関の支援を受けることが必要です。

受付期間：令和4年8月末まで

詳しくは、兵庫県社会福祉協議会ホームページをご覧いただけ、下記までお問い合わせください。

### サマーボランティアスクール 「わらじ、わらトンボ作り体験」

赤穂義士祭の義士行列で履くわらじを協力して作ってみませんか。

◆日 時 8月25日(木) 午後1時30分～4時

◆場 所 総合福祉会館 2階研修室

◆講 師 手作り文化伝承の会

◆参加費 無料

◆定 員 15名(小学4年生以上、市民優先・先着順)  
※動きやすい服装でお越しください。

◆申 込 8月18日(木)までに下記までご連絡ください。



### おもちゃライブラリー 手作りおもちゃ教室 「ビー玉ころがしを作ろう」

●日 時 7月30日(土)  
午前10時～11時

●場 所 総合福祉会館  
3階集会室

●講 師 木工ボランティアグループ  
「もっこうしにあ」

●参加費 100円(材料代)  
※おつりのないようご協力ください。



●定 員 15名(市民優先・先着順)  
※小学3年生以下の方は保護者の方と一緒に参加してください。

●申 込 7月14日(木)～7月20日(水)  
までに下記までご連絡ください。

#### 諸注意

◆マスク着用お願いします。風邪症状がある場合は参加をお控えください。

◆新型コロナウイルスの状況により、内容変更または中止になる場合があります。

### ■編集後記 ■

6月11日に「赤穂市福祉のつどい」があり、事前予約受付を開始して1週間経たずに満席となりました。参加者の皆さまありがとうございました。記念講演では、木山裕策さんの講話だけでなく、生歌もあり、素敵な曲を披露いただきました。普段は見られない歌手のリハーサルを間近で見られてラッキーでした。

皆さま夏の暑さには気をつけて頑張っていきましょう！

(こ)

### ご意見・問合せは

#### 社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地

電話 0791-42-1397 FAX 0791-45-2444

E-mail [ako-shakyo@ako-shakyo.jp](mailto:ako-shakyo@ako-shakyo.jp)

（音声版をホームページに掲載しています。）  
ぜひお聞きください！

ホームページ  
公式SNSも  
ご覧ください！



赤穂市社協

検索